

二重の溝跡が確認されました！（社前遺跡第7次調査）

令和8年2月26日（木）～3月12日（木）まで、社前遺跡第7次発掘調査を行いました。



調査区 全景



遺構検出状況

社前遺跡は深谷市原郷に所在しています。過去の調査では、古墳の周溝や奈良・平安時代の竪穴住居跡などが確認されています。

今回の調査では、古墳跡2基、土坑1基が検出され、多数の埴輪片が出土しました。この中で、第1号古墳跡では周溝が二重にめぐっていました。その外側の周溝からは、群馬県にある榛名山が噴火した際に堆積した火山灰が検出されました。一方、内側の周溝からは火山灰が検出されなかったことから、両者の掘削には時期差があると考えられます。古墳が造り変えられた可能性も含め、今後さらに検討を進めていく必要があります。



遺物出土状況



調査風景